
◎行政報告について

○議長（山本浩平君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第12、行政報告を行います。

町長から行政報告の申し出がありましたので、これを許可いたします。

戸田町長。

○町長（戸田安彦君） 平成27年白老町議会第2回定例会11月会議の開会に当たり、行政報告を申し上げます。

初めに地方創生先行型交付金の採択についてであります。

本町において申請を進めておりました、地方創生先行型上乗せ交付金について、10月27日に内閣府地方創生推進室より交付決定の通知を受け採択される運びとなりました。交付金総額は4,810万円となり、タイプⅠ型として事業名「象徴空間と地場資源を活かした白老町版DMOによる多文化共生の教育観光地域づくり事業」に3,810万円が交付され、その内訳としては「白老町版DMOを担うまちづくり会社設立準備」、「交流人口増加と地域資源を活用する受け皿づくり推進事業」、「多文化共生推進のための人材育成事業」の3事業となるほか、タイプⅡ型として、「子育てタウンしらおい推進事業」及び「おもてなし環境整備事業」に1,000万円が交付されることとなります。

なお、これらの事業費につきましては今回の交付決定を受け、今後速やかに補正予算議案を上程したいと考えております。

次に、本町発注工事における旭化成建材株式会社が施工した杭工事の状況についてであります。

この度の同社の一連の報道を受け、過去10年間に於いて同社が下請け施工した本町発注の工事を調査した結果、白老町日の出団地6号棟、白老町立特別養護老人ホーム、白老町消防庁舎、白老町バイオマス燃料化施設、白老町駆除鳥獣焼却施設、白老町合流式下水道改善水処理施設の6施設において、総数840本の杭が使用されておりました。

なお、該当する施設を目視にて確認した結果、傾斜やひび割れなどの不具合は見られませんが、現在、町独自でデータ確認を実施しており、調査結果がまとまり次第、改めてご報告したいと考えております。

次に、会計検査院による平成26年度決算検査報告についてであります。

11月6日に会計検査院長により内閣に送付された平成26年度決算検査報告において、平成25年度に北海道緊急創出事業臨時特例基金を財源として本町が実施した「白老町観光連携型6次産業人材育成事業」について、受託事業者が計上した事業費総額3,936万1,000円のうち520万7,000円について補助の目的外に使用され不当と認められるとの指摘がありました。

本件につきましては、昨年10月に実施された会計検査院による北海道会計実地検査において指摘を受け、その後、協議を重ねてきたところではありますが、結果として北海道へ返還する必要が生じたものであります。

昨年に引き続きこのような事態が発生したことは誠に遺憾であり、この事実を深く受け止めるとともに、今後このようなことが起こらぬよう職員での指導、監督をなお一層努めていく所存であります。

また、詳細につきましては、後日、改めてご説明させていただきたいと考えております。

なお、本11月会議には議案2件、報告3件を提案申し上げておりますので、よろしくご審議賜りたいと存じます。

○議長(山本浩平君) これで行政報告は終わります。